

陳 情 文 書 表

平 2 2 陳 情 第 2 3 号	平成 2 2 年 8 月 2 3 日 受 理
件 名	市議会議員定数削減に反対する陳情
陳 情 者	秦野市萩が丘 4 - 5 全日本年金者組合秦野支部 支部長 鷺尾 隆
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>本市議会に対し現在、26人の議員定数を改選期ごとに2人減らす、そして「次期改選期までに定数を2人減員」するよう求める陳情が提出されています。</p> <p>市議会として大事なことは、いかに適正に市民の意思や要求を市政に反映するかだと思います。市民の価値観や要求が多様化している現在、女性や高齢者などの社会的弱者の要求を市政に反映させるためには、一定数の議員が必要です。どれくらいの議員定数が必要であるかは一概に言えませんが、地方自治法で人口に応じた議員定数を定めているのは、住民の意思を正確に議会に反映させることを保障する立場からです。地方自治法で定める本市の議員定数は34人であり、現在の議員定数26人は、それより8人も少なくなっています。社会的弱者や少数者の意思をいかに反映するかは民主主義のバロメーターであり、現在の議員定数26人でさえ少ないのに、これ以上の定数削減は許されません。無駄を省くというのであれば、もっと大きな無駄があるはずであり、現在の議員定数を減らすことは、絶対に認められません。</p> <p>陳情事項</p> <p>1 本市の議員定数の削減には絶対に反対であり、現行の議員定数26人を堅持すること。</p>	